

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県県民会館	所管課	企画県民・生涯学習文化課
所在地	甲府市丸の内1-9-11	設置年月日 (改築年月日等)	昭和35年5月2日
管理方式	指定管理者(公益財団法人やまなし文化学習協会、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県県民会館設置及び管理条例		
設置目的	県民に芸術文化に関する展示の場を提供するとともに、地場産業等の振興に寄与する。		
主な施設内容 (定員等)	展示会場1号室(263㎡)展示会場2号室(198㎡)		
主な業務内容	(1) 県民に芸術文化を創造する喜びや、親しみ、触れる場を提供する。 (2) 県民に平等に展示会場の貸出を行う。		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	山梨県立美術館 県民ギャラリー 甲府市総合市民会館 多目的室
-------------------	-----------------------------------

3. 利用状況

単位: 人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数	貸し館利用者	40,072	47,483	24,671	
	利用者数合計	40,072	47,483	24,671	
	目標値	30,000	40,100	47,500	31,500
	目標値設定の考え方	展示会場が5室から2室に減にともない半減値とした。	昨年度実績数を超える数値とした。	昨年度実績数を超える数値とした。	昨年度まで確定申告会場として大口使用があったが今年度から甲府合同庁舎へ移動したため数値減とした。
	対21年度比	100.0%	118.5%	61.6%	78.6%
稼働率	40.5%	40.0%	28.0%	30.0%	

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料	2,325,910	2,330,000	1,889,850	1,900,000
	指定管理者委託料	3,728,000	3,891,000	3,891,000	4,025,000
	その他	796,751	700,000	857,539	0
	収入合計(A)	6,850,661	6,921,000	6,638,389	5,925,000
支出	人件費	5,779,028	5,636,000	5,533,615	5,034,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	871,084	1,155,000	1,034,379	891,000
	(うち外部委託費)(B)	0	0	0	0
	支出合計(C)	6,650,112	6,791,000	6,567,994	5,925,000
収支差額(A-C)		200,549	130,000	70,395	0
外部委託比率(B÷C)		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
利用者一人当りの経費		79	82	158	128

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年4月~24年3月、実施方法:貸し館利用者へのアンケート、回答数:144人
-------	--

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①利用日、利用時間	96.0%	4.0%	0.0%	0.0%
②利用料金	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
③申し込み方法	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④設備・備品の状況	92.0%	2.0%	2.0%	4.0%
⑤職員の接客態度	96.0%	0.0%	0.0%	4.0%
各項目の平均	96.8%	1.2%	0.4%	1.6%

利用者の意見	・駐車場が欲しい。 ・建物が古いので改装して欲しい。
利用者の意見への対応	・公共交通機関の利用のお願いや民間駐車場の案内をしている。 ・施設の大規模な改築はない為、現状にてお使いして頂ける様ご理解いただく。

6	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	業務仕様書、業務計画書どおり適正に業務を執行した。	業務仕様、業務計画どおり適正に業務執行されている。
運営業務	業務仕様書、業務計画書どおり適正に業務を執行した。	条例及び協定等に基づき適正に業務執行されている。利用者増加に向けた広報活動については、その手法について更なる工夫が必要である。
自主事業	該当なし	
利用状況	催し物案内(3カ月毎)やHPなどでPR活動に努め、県民会館展覧会場の周知を行った。参加者から主催者(学生サークル)へ移行した催し物も定期的に行われた。しかし、大口使用(確定申告)が甲府合同庁舎へ移動したため減少した。今後も甲府駅に近い立地条件を活かし、多様な利用形態をPRして、利用増に努めていく。	大口利用がなくなったため、利用者数・稼働率とも前年より下回ってしまった。新たな顧客開拓とともに、利用者に満足いただき、再利用されるよう、一層のサービス向上及びPRに努めること。
収支状況	利用料金収入は計画には及ばなかったが、自動販売機販売手数料収入は計画を上まわった。支出については出来る限りの削減を行った。	利用料金収入は計画を下回ってしまった。今後も施設のPR活動を推進するとともに、引き続き経費の削減に努めること。
利用者満足度	利用者の声のうち、対応可能なものについては、すみやかに対応した。今後とも利用者の声を聞き、改善できる点を行い、より一層のサービス向上に努めていく。	利用者満足度は前年度を上回った。今後もより一層のサービス向上に努めること。施設の構造上の問題や老朽化については、現状でできることを実行すること。
運営目標の達成状況	総利用者数(24,671人)は目標総利用者数(47,500人)の半減値となり、総収入も目標値には若干及ばなかった。目標数作成時にはまだ確定申告会場としての利用の可能性もあったので多く見込んだが、平成24年2月に甲府駅北口に建設された甲府合同庁舎開庁に伴い使用がなくなったことによる減。今後も展覧会だけではなく、甲府駅に近い立地条件を活かし、多様な利用形態をPRして、利用率、入場者数、収入の増額に努めていく。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	業務仕様、業務計画に基づき適正に維持・管理業務が執行されている。大口利用がなくなったこと等により利用者数・稼働率とも前年度より減少してしまったが、利用者の満足度は前年度と比べて高くなっている。利用料金収入確保に向け、一層の積極的営業・PR活動を行ったり、多様な利用形態を提案するなどして、利用者数・稼働率の増に努めるとともに、引き続きサービスの向上に努めること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	今後も利用促進に向けて積極的に営業活動を行うとともに、利用者の声に早急に対応し、一層のサービスの向上に努めていく。	



